

めぶきニューヨークレポート

MEBUKI NEW YORK REPORT

2024 年度 No.3

テーマ

米国の最新消費動向について

トピックス

NY での茨城県工芸品展示会

NY ライフ

ニューヨークの誕生日パーティ

【写真引用：pixabay】

米国の最新消費動向について

- コロナ禍を経て急回復した米経済ですが、米FRBの金融引き締めを背景に緩やかな減速傾向にあります。
- 数十年ぶりの水準に上昇したインフレ率も、足元は落ち着いてきているように見えます。
- FRBの金融政策に大きく影響を与える米国の消費動向について、最新の状況をレポートします。

図1 小売売上高と消費者物価指数の推移

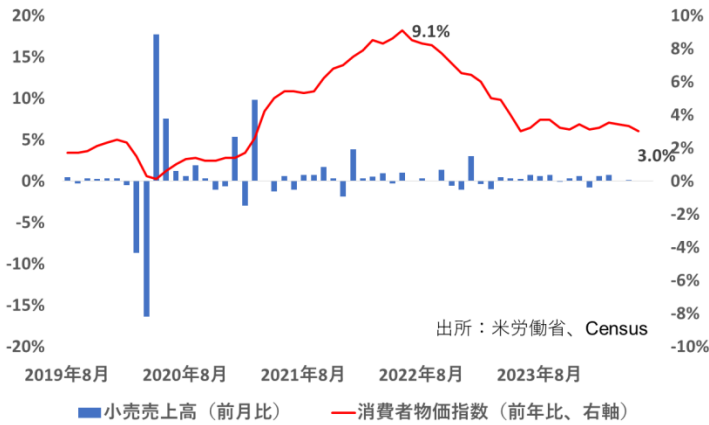


図2 非農業部門雇用者数変化と平均時給伸び率の推移

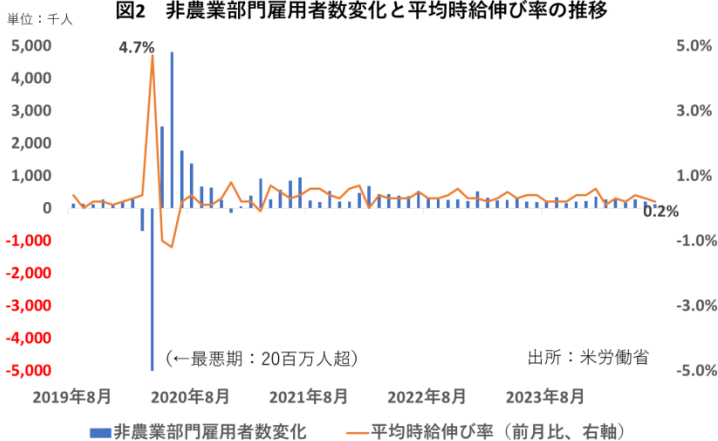


写真1 買い物客で賑わう5番街 (筆者撮影)

経済指標で見る消費動向

米国の足元の消費動向を見るうえで、様々な指標が参考になります。代表的な指標である小売売上高(図1)は、コロナ禍での急減を経て、その後高いインフレ率にも拘らず底堅く推移しました。

足許は利上げによりインフレ率が落ち着きを見せる中で、緩やかな増加基調を維持しています。

高いインフレ率にも関わらず、消費が堅調だった理由はどこにあるのでしょうか。背景にあると思われる雇用、賃金の推移を次で見ていきます。

雇用、賃金の状況

コロナ発生後は幅広い産業で解雇が行われ、失業者が一気に増えました。これに対しバイデン大統領は、2021年3月に総額約200兆円の大型の失業者救済策に署名し、潤沢な失業保険金の人々の生活を支えました。

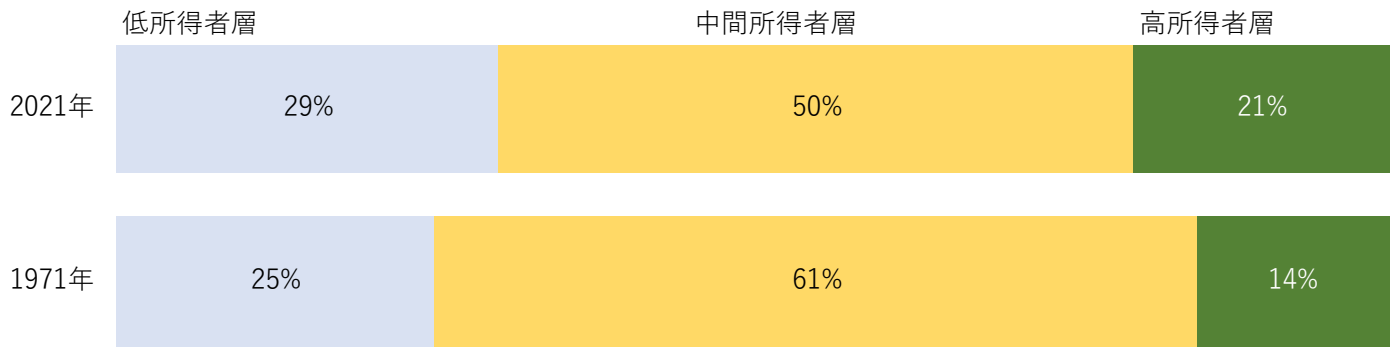
一方、失業保険金を得るために敢えて失業状態を継続する人も多く、経済が回復する過程でも働き手が足りず、雇用は堅調、労働者賃金は底堅く推移し、「労働市場は過熱」と形容されるようになりました(図2)。

雇用市場はピークアウト

過熱する労働市場でしたが、7月末に開催されたFOMCでパウエルFRB議長は、雇用市場について「良い均衡にある」「新型コロナのパンデミック前の状態に回帰したことがデータで示されている」とコメントし、ピークアウトしつつあることが示されました。

賃金上昇が徐々に落ち着く一方、消費に大きな影響を与えるインフレ率が低下することで、消費は今後も安定的に推移すると見られています。

図3 所得別人口割合の50年前との比較



出所：ピューリサーチセンター

図4 将来の債務返済に不安を持つ割合（世代別）

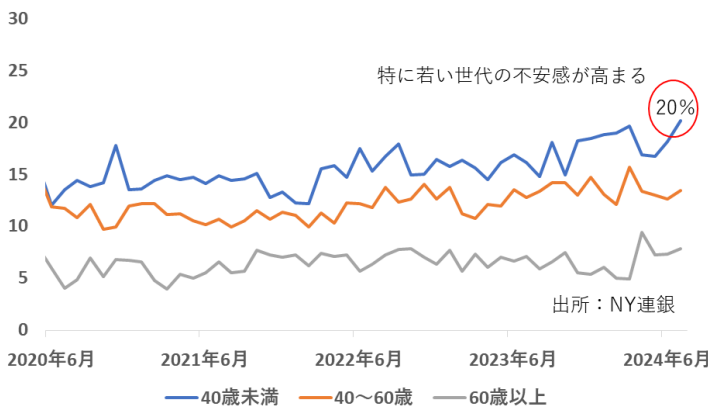
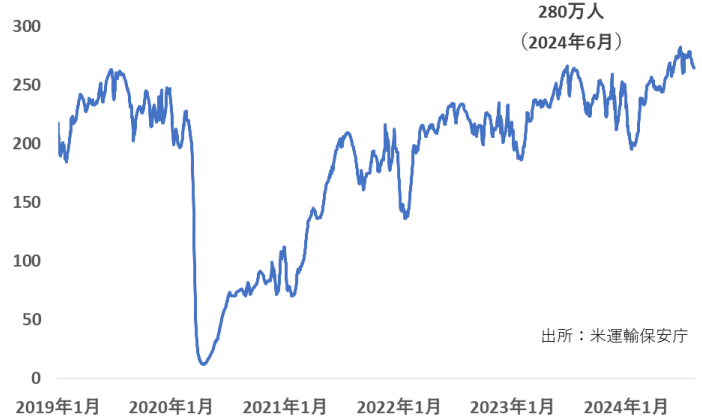


図5 全米旅行客数（7日平均）



進む二極化

次に所得や世代別での消費動向を見ていきましょう。

今年5月、有名なファストフードチェーン「ウェンディーズ」で3ドルセットの提供が開始され、話題になりました。それを追うように、マクドナルドが5ドルセットを、スターバックスが6ドルセットを販売し、好評を得ています。総じて消費は堅調とされる一方、節約志向も強まっているようです。

ここ数年で食料等生活必需品の価格が上昇し、特に低所得者層への影響が大きいとされています。米国ではこの50年で所得格差が広がり、中間層が減少する一方で高・低所得層が増えました(図3)。

年代別でも経済面や心理面など様々な「二極化」が進んでいると言われており、「底堅い」消費は、特定の層がけん引していることを考慮する必要がありそうです。

富裕層の消費がキー？

今、米国では「モノ消費」よりも「コト消費」が盛んです。外食では、ファストフード人気と並行するように、高価格帯レストランの予約件数もコロナ禍以前まで回復しています。米国内外の旅行需要も強く、航空券やホテルの予約は価格が上昇しているなかであっても好調です。懐に余裕がある層を中心にお金が使われています。

そうした富裕層の消費を支えるのは、今年史上最高値まで上昇した株式への投資や、高い預金金利が付与される銀行預金などの「資産効果」とされています。

米国経済はまだまだ底堅いという見方の一方で、今年後半からは徐々に景気が落ち着くとの予想のもと、FRBは金融政策を徐々に緩和していくことが予想されています。今年7月から8月頭にかけて発生した金融市場の急変動も、米国景

気の先行き不安感が背景との見方もあります。

金融市場の変動は、富裕層の資産や消費動向に影響する可能性があります。株価の動向だけでなく、今後発表される様々な経済指標が、どのような形で富裕層の動向に影響してくるのかを推測しておくことも重要と思われます。

おわりに

米国の経済規模は大きく、その変動は日本をはじめ世界各国の経済や金融市場にも大きく影響を及ぼします。米国経済の大きな割合を占める消費動向は引き続き注目すべきテーマです。

当事務所では、こうした米国の実情を紹介し、皆様のお役に立つ情報を提供してまいります。

※写真は筆者撮影
ニューヨーク駐在員事務所
吉田 圭佑

Email: newyork@joyobank.co.jp



写真上：伝統工芸品で装飾された桂雛
 写真右上：陳列された茨城県の工芸品
 写真右下：来場者に説明する小佐畑氏

トピックス ～ニューヨークでの茨城県工芸品展示会～

- 6月28日～7月19日、ニューヨークマンハッタン「日本クラブ」にて、茨城県工芸品展示会が開催。
- 今回のトピックスではその模様をお伝えします。

展示された「桂雛」について

展示場では、茨城県の旧桂村（現城里町）で生まれた桂雛（かつらびな）を主体に、ユネスコ無形文化遺産に登録されている「結城紬」や京都の「西陣織」、フランスのアンティークレースなどの装飾で彩られたお雛様が複数展示されました。

旧桂村は、かつて徳川家の城下町として多くの職人たちが集まる場所でした。桂雛職人の三代目である小佐畑孝雄氏は、桂雛の歴史的な伝統を守りつつ、更に芸術性を追求し、ひな祭りの季節に関わらず一年中部屋の中に飾れるようなインテリアアート（通称：Hina Doll）として昇華させました。今回は海外で初となる展示会です。

会場の様子

展示場では、桂雛の他、結城紬、西の内和紙、笠間焼などの茨城県の様々な伝統工芸も紹介され、茨城県が有する職人の技の巧みさがアピールされていました。

期間中、会場には日本文化に興味や造詣のある在ニューヨークの様々な方が総勢1,000名以上来場した、とのことでした。

二日目には小佐畑氏が自ら来場者に向けて桂雛の魅力について語るセッションも設けられ、日本人が持つ独特な色彩への拘りや、感性の鋭さについて説明し、茨城のみならず日本の伝統工芸の優れた技について、来場者は感心したようでした。

来場者の声

ニューヨーク生まれのVictoriaさんは「趣味でお茶をやっていて元々日本文化に非常に興味がありました。今回の展示を通して日本の伝統工芸の奥深さを知ることができました」と語っていました。

本展示会のキュレーターである津延美衣氏は「平安時代から続く日本の織物や色彩の文化を多くの方に触れて頂いたことや、お雛様の舞台を演出する茨城県の伝統工芸士の技を紹介できたことはうれしい」とコメントされました。

※写真は筆者撮影
 ニューヨーク駐在員事務所
 吉田 圭佑



プールサイドにも風船
で飾り付け

友人宅内のパーティの装飾
も手作り



筆者姪のマーメイドバースデーケーキ
～姪の母親の手作りです～

NY ライフ ～ニューヨークの誕生日パーティ～

➤ NYには誕生日、卒業パーティ、プロム（ダンスパーティ）、クリスマス、感謝祭など様々なパーティがあります。今回は子供の誕生日パーティの様子をご紹介します。

種類とテーマ

ニューヨークでは、子供の誕生日前になると、どのようなパーティにしようか、と親たちは頭を悩ませます。まず子供の好きなキャラクターやテーマ、予算を決め、自宅でやる場合もありますが、ニューヨーク市内では、大勢が集まりやすい場所を貸し切ってパーティをするケースが多い印象です（費用は\$250～）。

例えば、公園、映画館、ミニゴルフ場、ローラースケート場などを利用したり、トランポリン、プール、体験型クラフト、ゲームアーケードなどのアトラクションや、エンターテイナーを呼ぶなどのアイデアが定番です。これまで私が経験したなかで特にユニークだったのは、大きな蛇や爬虫類を連れてきて、子供達が触ることのでき

るエンターテイメントや、子供たちがネイルや顔パックを楽しめるスパ（美容）専用バスが家の前まで来るサービス、大きなシャボン玉を操るエンターテイナーやプールでのパーティなどです。

家族の出身国によってもパーティの雰囲気が違い、とてもユニークで興味深いです。（アメリカ人以外では、メキシコ、ロシア、ドイツ、パキスタンなどの国の家族のパーティに参加しましたが、どれもユニークでした）。

パーティの準備と流れ

初めは、お友達に招待状を送ります。Eメールの招待状にゲストがプレゼントを選びやすいように事前にAmazonやTarget（百貨店）のプレゼントリストを送り、その中からプレゼントを決めてもらいます。また、VISAやAmazonのギフト

カードをプレゼントとして送ることもあります。

パーティで出る食べ物は大体ピザかバーベキュー、またケータリングなどです。食事の後はみんなで歌を歌って、盛り上がったところで最後にバースデーケーキが登場します。ケーキは手作りも多く、アイスクリームケーキやカップケーキなどが、子供達でも食べやすいので好まれています。

ゲストが帰る時にはグディバッグ（ホストがゲストにお返しを渡す袋）のお土産と、ありがとうの気持ちを記したカードを渡します。どのパーティでも、子供と来てくれたゲストに楽しんでもらおうと工夫をこらしているのを感じます。

※写真は筆者撮影
ニューヨーク駐在員事務所
小田川 琴音

News 一覧

<政治>

- ・バイデン大統領、トランプ氏銃撃を非難 「暴力許されず」 (7/14)
- ・ロシアが米政権非難、トランプ氏銃撃の「雰囲気作った」 (7/15)
- ・トランプ氏銃撃、犯行動機なお不明 警護隊は「迅速に行動」(7/15)
- ・米国は制御不能な「カオス」に、有権者の80%が懸念 トランプ氏銃撃受け=調査 (7/16)
- ・トランプ氏「台湾は防衛費払うべき」、TSMC株が急落 (7/17)
- ・米共和バンス氏「労働者に尽くす」、副大統領候補指名受諾 (7/18)
- ・トランプ氏のEV支援廃止、競合社の方が打撃大きい=テスラCEO (7/23)
- ・トランプ氏がハリス氏批判、移民政策巡り バイデン氏撤退後初の集会で (7/24)
- ・米民主党への高額献金者、ハリス氏にFTC委員長更迭を希望(7/29)
- ・トランプ陣営、激戦6州で大規模広告 ハリス氏の勢いそぐ狙い(7/29)
- ・米ロが冷戦後最大の身柄交換、WSJ記者ら バイデン氏「外交の偉業」(8/2)
- ・ハリス氏、副大統領候補に中西部州知事ワルツ氏 農村・白人票狙う (8/6)
- ・米共和バンス氏、金融政策で「政治的」決定を トランプ氏の立場支持 (8/12)

<金融政策>

- ・トランプ氏、FRB議長解任求めず 財務長官にダイモン氏検討=BBG (7/16)
- ・米経済、軟着陸と整合 インフレ鈍化継続へ=クックFRB理事 (7/16)
- ・米、24年後半まで利下げ見送るべき 増税も必要=IMF (7/18)
- ・米地銀決算、減益相次ぐ 預金コスト上昇や融資需要低迷で (7/22)
- ・[ロイター調査]米FRB利下げ、9・12月の年内2回予想が大勢(7/23)
- ・FRB、来週の会合で9月利下げ示唆の公算 PCE価格指数受け (7/26)
- ・米国債四半期入札は規模据え置きか、大統領選後に変更も (7/29)
- ・米国株式市場=上昇、FRBが9月利下げ示唆 半導体関連に買い (7/31)
- ・米国株式市場=ダウ600ドル超安、ナスダック調整局面入り 景気後退懸念 (8/2)
- ・米国、景気後退には陥っていない—シカゴ連銀総裁=CNBC (8/5)
- ・米債券ラリーは行き過ぎ、7月利下げ必要だった=ブラックロック (8/5)
- ・JPモルガン、年内の米景気後退の確率を35%に引き上げ (8/8)

<経済指標>

- ・ISM製造業景況指数 7月は46.8に低下 8カ月ぶり低水準 (8/1)
- ・非農業部門雇用者数 7月11.4万人増、予想を下回る (予想11.9万人増) (8/2)
- ・失業率 7月4.3% 2021年9月ぶりの水準に上昇 (8/2)

(出所：各種新聞等、2024年7月下旬～2024年8月中旬のニュースを抜粋)

Disclaimer

本レポートの内容につきましては、当行の信頼し得る先からの情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、信頼性を保証するものではありません。具体的に法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談くださいますようお願いいたします。

発行元：常陽銀行市場国際部

常陽銀行ニューヨーク駐在員事務所 712 Fifth Avenue 8th FL TEL：+1-347-686-8420 E-mail：newyork@joyobank.co.jp